

法雲寺報

法雲寺
2008/12/20発行
兵庫県東丹波郡香
美町村岡区村岡
2365

性善説？性悪説？

未だにボーイスカウトとの縁が切れず細々と活動を続けているのですが、活動を通して子供達の持つ様々な姿や我々大人の在り方を教えてくれるような気がします。去る3月中旬にもこ



スタート前の打ち合わせ

供達8人で湯村温泉の街中を巡り、各ポイントに置いてある通信文を読解し課題をクリアしてゴールを目指し「追跡ハイク」を行っていました。また、コースの道すがらに隠しテーマであり「ゆで卵作り」の材料が置いてあり、それらを回収して最終地点の荒湯で「ゆで卵」を楽しむ趣向です。

子供と社会性

スタートして30分余り、休憩地点で待っていると2キロ程歩いて来た子供達がバラバラとやって来ます。ゆで卵を楽しんでいる観光客に刺激されたのか？それともやっと休憩地点に着いても何も出てこないからか？、子供達の中で一番活発な男の子が余り顔馴染みでもない私に向かって「早くゆで卵しよう！」と言って来ます。



観光客で賑わう荒湯

「卵なんか準備してない」と言うと、売店を指差して「あんだが、あそこ買ってきいよ」と提案というよりは、家人に甘えて言うような、反命令口調です。

半ば本日の隠しテーマである「ゆで卵作り」を見透かされたような気分で「卵なんて課題がクリアできてからの話」と言っ

で、(多分普段ならゆで卵なんて見向きもしないだろうに...)私も奇立ち大きな声で「卵なんか、絶対に、買・い・ま・せ・ん！早く行け！」と背中を押し出した次第です。

多分、私自身も子供の頃そうであった如く、子供は自分の欲求に対して遠慮が有りません。今の子供達は、家族以外の多くの人に接して成長して来たわけではなく、自分の生活の輪の外に居る大人に対してどのような力加減で接すれば良いのか見当が付き、非常に馴れ馴れしく接するか、逆に接触を拒むかに分かれてしまいがちです。

「子供は純真無垢でかけがえない存在」と良く言います。子供の心は確かに何色にも染まっていない、善も悪も無い、ただ単に真っ白に近い状態です。真っ白な状態だから周りの関わり次第で如何様な色にも染まってしまう。一旦、誤った色に染まっても簡単には後戻りが出来ない。だから「かけがえない

存在」だと言つのではないでしょうか？
真っ白な状態の子供達ですから、その行動を大きく支配するのは「快か？不快か？」の本能的に近い欲求や感覚でしょう。子供達に自分の欲求を押し殺して修行僧のように振舞えとは言いませんが、場面や立場に応じた最低限の社会性は幼いからこそ、徐々に身に付けさせる事を考えなければと思えます。



待望の？ゆで卵完成

大切にして欲しい気持ち
それと、当日は子供達だけの集団で行動をしていました。年長の中1の女の子は、まだ習っていない種類の指令文をハンドブック片手に解説し、地図を見て集団を導いて行きます。次に年の大きい小5の女の子は遅れがちになる年少の子供達が付いてきているか常に確認して歩いていました。その年少の子供達も路面にチョーク書きされた記号やヒントが無いが、それぞれが見る方向を決めて足元ばかり気にして歩いています。

頼るべき大人が居ないことで、子供達は自然と役割を分担して歩くだけ
で何とかしなければならぬと覚悟を決めたのか、それとも子供だけの集団になると自然と分担や協力をする能力を元々身に付けているか。
まあ、いずれにせよ誰に言われた訳でもないのに自然にそして素直に協力や分担をしながら歩いていく姿は実に輝かしいものでした。



社会を映す鏡

子供と言えども社会の一員であり、将来は社会を背負っていくべき存在です。
如何なる色にも容易に染まっていくとしたら、良き人に育つように、年齢に応じた社会性を身に付けさせてやるのが、周囲の大人の重要な役割でしょう。そして、子供達が自分の属している集団(家庭・学校・地域等)の為に素直に進んで協力・分担する気持ちや能力を元々持っているならば、その気持ちや能力を守り育てやらねばなりません。

せん。
私の小さい頃は子供にとって世間は「良き手本」であり尺度で育ったような気がしますが、今の世の中は「反面教師」ばかりが目につき、秤(はかり)は壊れたままです。

子供は社会を映す鏡という事なれば、目先の損得ばかり追い回している大人社会の反映が今の子供達です。
先ずは子供達のことをやかく言う前に、我々自身の姿を省みなければ、話が始まらないのかも知れません。



足湯で疲れを癒す

**平成二十一年度
役員会総会**

皆様方のご協力を頂きましてH20年度も無事終了、期もH21年度と改まりました。去る5月24日に法雲寺にてH21年度の役員会総会を開催いたしました。総会ではH20年度・H21年度の会計及び事業に関する報告や計画を慎重審議頂きました。

永代供養の基準作成

併せて前年総会で具体化を提言されてきました「永代供養の基準」について検討頂き、形作ることが出来ました。「永代供養」と言う言葉の意味は人それぞれ異なるところですが、今後、

法令基準の様式変更

今まで2枚有りでした「法礼基準」を1枚の用紙に統合いたしました。(基準金額の変更はありません)も法事の際にはご参考に願います。

次期住職養成協力最終年

H19年度から3ヶ年の期間でお願いいたしておりました長男・廣実房の「次期住職養成協力」ですが、おかけを持ちまして、3年生に進学でき、予定通り本年H21年度を最後とすることが出来そうです。皆様からのご協力深く深く感謝申し上げますと共に、最後の



**平成二十一年度
会費・協力費**

1ヶ年どうかご協力をよろしくお願い致します。
尚、各事項については同封いたしております総会資料をご覧ください。

春の彼岸会

去る3月22日に春の彼岸会を行い地元村岡の檀家さん中心に多くの方々にお参り頂きました。お彼岸の一日、ご本尊に手を合わせ、ご先祖の供養と一家の平安安穩を祈る小一時間ほどの集まりです。男性の参拝者も少しずつ増えてきました。H21年の秋



H21 お大師講

本年の「お大師講」ですが、本年も11月23日が但馬部内法要と重なりますので、11月の下旬に実施したいと思っております。尚、本年度のお当番は、東上・野々上・板仕野の皆様です。お手数をお掛けしますがよろしくお願ひします。次期が近づきましたら相談会を持ちたいと思ひます。

**御詠歌西日本大会
参加者募集**

天台宗御詠歌但馬本部では10月に滋賀県守山市で開催される御詠歌西日本大会への参加者(見学も含む)を募集いたします。

今大会には法雲寺からも発表者として舞台に上がる予定です。翌日は京都御所見学等も御座いますので、ご詠歌の会員以外の方でも興味がある檀家様でしたら何方でも大会の見学参加可能です。是非ご参加下さい。
・会場：滋賀県守山市
・期日：平成21年10月8～9日
・行程：8日西日本大会参加

**特別寄進の報告
H21年1～3月**

見学、9日京都御所・平安神宮参拝、全行程貸し切りバス利用
旅行費用：三万円(大会参加費七千円含)
申込み：6月中に法雲寺までご連絡下さい。